

# 2027国際園芸博覧会ニュース

2027年横浜で開催される国際園芸博覧会に関する最新トピックをお知らせいたします。

## 2027年3月～9月 横浜で国際園芸博覧会が開催されます。

### 1 国際園芸博覧会とは？

国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催されています。A1（最高クラス）の国際園芸博覧会は、国際園芸家協会（AIPH）の承認及び博覧会国際事務局（BIE）の認定を受けて開催される国際的な博覧会です。日本では1990年に「国際花と緑の博覧会（花の万博）」が、アジアで初めてのA1の国際園芸博覧会として大阪で開催されました。横浜市も同じA1の国際園芸博覧会を開催します。



花の万博（1990年大阪）の様子  
資料提供：公財）国際花と緑の博覧会記念協会

テーマは、「幸せを創る明日の風景」。旧上瀬谷通信施設(※)において、花と緑をシンボルに、生命感と未来の種にあふれた国際園芸博覧会が開催されることで、基地跡地のまちづくりが進み、次世代に向けた持続的な環境創出や新たな経済の活性化に貢献します。さらに、世界の子どもたちに感動を与え、横浜から明日に向けた創造的な提案や友好と平和のメッセージの発信にもつながります。

(※) 旧上瀬谷通信施設は横浜市の北西部（旭区・瀬谷区）にある面積約242haの平坦な土地です。長年米軍に提供していましたが、2015年6月に返還されました。農業振興と都市的土地利用による新しいまちづくりを進めており、郊外部の活性化拠点として大きなポテンシャルを有しています。



### 2 全国的な推進組織設立

令和2年11月6日、博覧会協会（仮称）の設立準備や全国的な機運醸成等を目的とした「2027国際園芸博覧会推進委員会」（会長：中西 宏明 日本経済団体連合会 会長）の設立総会・記念式典を開催しました。

設立総会では、委員会の設立、令和2年度の事業計画等が承認されました。また、記念式典では、国際園芸博覧会をPRするための「推進ロゴマーク」を会長代行の林文字子 横浜市長から発表しました。



### 2027国際園芸博覧会ニュースについて

2027国際園芸博覧会ニュースは、国際園芸博覧会の広報PR・機運醸成のため、2027国際園芸博覧会推進委員会が発行する季刊誌です。

国際園芸博覧会に関するトピックを定期的にお伝えし、2027年の開催に向けて盛り上げていきます。国際園芸博覧会への理解を深めていただければ幸いです。



### 3 広報動画

国際園芸博覧会の開催に向けて、様々な方にその目的や意義をお知らせし、園芸博に関心を持ってもらい、より多くの皆様の積極的な参加につなげていくため、横浜市では広報動画を公開しています。ぜひご覧ください。

●有識者インタビュー動画

「2027横浜 国際園芸博覧会 概要」 (約7分)

「2027横浜 国際園芸博覧会への期待 ～専門家に聞く～」

①東京農業大学 准教授 福岡孝則氏

②株式会社 サカタのタネ 代表取締役社長 坂田宏氏

(各約14分)

●「2027 YOKOHAMA」PR動画 (60秒)

以下のURLよりご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/koho.html>



有識者インタビュー動画



PR動画

### 4 みんなで咲かせよう手形アート

博覧会会場の地元小学生たちが手形アートで2027国際園芸博覧会をPRするため、作品を制作しています。屋外展示を行い、地元の理解や期待感、機運醸成につなげていきます。



手形アート制作の様子

### 5 2027国際園芸博覧会推進委員会ウェブサイト開設

3月15日から推進委員会ウェブサイトを開示しています。2027国際園芸博覧会の情報発信に努めていきます。

以下のURLよりご覧いただけます。

URL：<https://expo2027yokohama.jp/>



ウェブサイト トップページ

### ◆ 関連トピックス

(1) 推進ロゴマーク

花卉は、博覧会で生まれる多様な交流と、そこから「幸せな明日」を創造していく生命力を、葉は自然との共生を象徴し、茎は開催地 横浜の“Y”を表しています。



(2) 水素燃料電池自動車

2027国際園芸博覧会をPRする水素燃料電池自動車が市内を走っています。



(3) 推進ロゴマーク ピンバッジ



このように国際園芸博覧会に向け、着実に準備を進めています。

2027年に世界中から多くの方々が横浜にお越しになるのを楽しみにしています。

